



「女性活躍」の推進に向け国民運動を展開

上川陽子党女性活躍推進本部長に聞く

安倍政権が「地方創生」とともに、最重要課題の1つとして掲げ、成長戦略の大きな柱の1つに据える「女性活躍」の推進。政府・与党一体となつて、この取り組みを具体的に推進するための組織として、党内に総裁直属機関の「党女性活躍推進本部」が設置された。「すべての女性が輝く社会の実現に向けて全力を尽くす」と語る上川陽子同本部長に今後の課題や取り組みなどについて聞いた。

「女性力」日本再生の原動力

——同本部設置の目的と意義について教えてください。

上川陽子党女性活躍推進本部長 すべて女性が働き方、生き方など自らの希望を実現し、その力を十分に発揮できれば、女性たちの輝きが、活力ある社会、日本再生の原動力となります。

「すべての女性が輝く社会」の実現に向けて全力を尽くす

そのために必要な政策を検討し提言するとともに、「女性の活躍」に関する国全体の意識を高める国民運動をリードしていくために同本部は設置されました。

——具体的な取り組みは。

上川 包括的かつきめ細かな議論を行うため、同本部の下に4つのプロジェクトチーム(以

下、PT)を立ち上げました。1つ目は、「活動拠点と働き方改革PT」です。長時間労働を基本としたこれまでの働き方を、社会全体の意識改革も含め、見直していくべきだと思います。

地域に根差した活動に二層の支援を

2つ目は、「2020オリンピック・パラリンピック/新事業とベンチャー起業PT」です。政府はすでに「2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%に高める」ことを目標に掲げていますが、私としては1964年東京オリンピック・パラリンピックの時と同様、この機会に

3番目は、「地域コミュニティの推進力PT」です。地域ではいまも子育てや介護などさまざまな分野であらゆる世代の女性が活躍しています。党地方創生実行統合本部とも連携し、そうした地域に根差した活動に光を当て、一層支援していきたく考えています。

4つ目は、「外交と国際貢献PT」です。女性の社会参加は、目下、世界共通の課題。国連機関とも連携し、この分野でリーダーシップを発揮することは日本外交の使命です。

一方、海外で活躍している日本人女性たちの経験や意見を日本社会の変革に活かすことも大切です。



「女性が暮らしやすい社会の制度や仕組みをつくることに全力を尽くす」と意気込みを語る上川陽子党女性活躍推進本部長

現場の声を中間提言や政策集に反映

——党地方創生実行統合本部をはじめ、その他の党内機関との連携については。

上川 党女性局や青年局、地方組織としっかり連携し、地方議会の女性議員や企業、団体なども積極的に対話していきたいと思えます。

——今後の予定は。

上川 当面は政府提出の関連法案成立をバックアップすること

とで仕事の質を上げていく。そうした好循環を生み出すことが大切です。

今国会に政府が提出する「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案」も、男性・女性ともに仕事と家庭を両立できるように必要な環境整備を促進するためのものです。

- 政調全体・日本経済再生本部合同
- 追加の規制緩和で新産業創出 —
- 衆院本会議 — 「地方創生関連法案」審議入り —
- 地方創生実行統合本部
- 全国知事会など地方6団体と意見交換 —
- 特定秘密保護法運用基準を閣議決定
- 指定の3要件を明示 —

- 食料産業調査会 — 「地域雇用と所得向上目指す」 —
- 中古住宅市場活性化小委員会
- 「中古住宅市場活性化提言」中間取りまとめ —
- 青少年健全育成推進調査会
- 「青少年に健全な育成環境をつくる」 —

5面

解説・政治キーワード
— 防災対策 —

7面

佐藤綾子のパフォーマンス学講座 ▶26<
— 一人は正確さだけを求めていない —
座右の銘
「雲外蒼天」衆議院議員 島田 佳和

8面

ウィークリー自民
連載「風雪素描」第3回
— 川島 正次郎 —

今週の紙面

2面

3面